

皆さんの温かい支援で活動が成り立っています 地域福祉活動等へのご協力をお願いします



▲詳細はこちら

日本赤十字社東海村分区、青少年育成東海村民会議、東海村社会福祉協議会の3団体では、地域における災害時の救護活動、青少年の育成活動、福祉活動等のため、活動資金(会費)を募集しています。毎年5月ごろに自治会を通して協力を呼び掛けているほか、各問い合わせ先でも随時受け付けています。

	日本赤十字社東海村分区	青少年育成東海村民会議	東海村社会福祉協議会
活用事例	県内外での災害救護活動、地域の防災教育・災害備蓄品整備等 	小学校区ごとの活動(釣り大会、稲作体験等) 	自治会・地区社協活動への助成や福祉車両の修繕等 
活動資金(会費)	一口500円程度/年	一口300円/年	▽普通会員…一口300円/年 ▽特別会員…一口1,000円/年
受付・問い合わせ	日本赤十字社東海村分区 (役場行政棟1階 地域福祉課内 ☎282-1711 内線1132)	青少年育成東海村民会議 (歴史と未来の交流館内 ☎287-0851)	東海村社会福祉協議会 (総合福祉センター「絆」内 ☎282-2804)

ふるさと歴訪 〜自然を探して〜 春の食用キノコ「カシタケ」

慶應義塾大学准教授
糟谷 大河

「キノコ狩り」は秋の風物詩ですが、茨城県や千葉県の一部地域には、春に生える「カシタケ」というキノコを食べる文化がありました。カシタケはベニタケ科ベニタケ属のキノコで、かさの直径は8センチメートル程度になり、その表面は未熟な状態では黄白色ですが、成熟するにつれて紫色、紅色、赤ワイン色、オリーブ色など、変化に富んだ鮮やかな色合いとなります。かさの裏面はひだ状で白色です。柄は長さ5センチメートル程度、太さ1.5センチメートル程度になり、白色から灰白色です。

カシタケは主に4月上旬から5月中旬にかけて、福島県、茨城県と千葉県のスダジイやカシ類などの樹下に発生します。その分布は、福島県ではいわき市の沿岸部に、茨城県では北茨城市から鹿嶋市にかけての沿岸部や、行方市、かすみがうら市など霞ヶ浦沿いの地域に限られるようです。また、千葉県では銚子市、香取市や匝瑳市など県の北東部に加え、君津市久留里など、房総半島南部の内陸の地域にも発生します。



【スダジイやモミの混交林内に生えたカシタケ(村松にて)】

カシタケは美味しい食用キノコで、特に茨城県の鹿行地域と千葉県北東部では、春のキノコ狩りの対象として親しまれてきました。カシタケは爽やかな香りを持ち、うま味が強くよいだしが出るため、汁物に入れるとその風味を堪能できます。また、かさの鮮やかな色合いは加熱しても消えないため、カシタケは視覚的にも楽しめるキノコです。しかし、その食文化の保存や継承はなされず、近年ではカシタケを採って食べた経験を持つ人は少なくなっているようです。県内では鹿行地域だけでなく、北茨城市、日立市や小美玉市の一部地域でもカシタケを食べる文化が存在したようですが、東海村でも同様の習慣があったのかは不明です。ただ、村内でもスダジイの樹下に時折、カシタケが見られます。東海村でのカシタケ食文化に関する情報や経験をお持ちの方がいらっしゃったら、ぜひ教えてください。

日立市や小美玉市の一部地域でもカシタケを食べる文化が存在したようですが、東海村でも同様の習慣があったのかは不明です。ただ、村内でもスダジイの樹下に時折、カシタケが見られます。東海村でのカシタケ食文化に関する情報や経験をお持ちの方がいらっしゃったら、ぜひ教えてください。



東海村発足70周年
最新情報はこちら



▲70周年記念公式X